

にじのはしファンド サポーターの皆様へ

日頃から、にじのはしファンドに多くのご支援をいただき、ありがとうございます。

この度、にじのはしファンドはNPO法人の認定を受け、2019年度より「NPO法人にじのはしファンド」として、新たなスタートを切ることができました。これもひとえに、サポーターの皆様のおかげによるものと事務局一同、改めて心から感謝申し上げます。

このため、今回は、任意団体にじのはしファンド「2018年度決算報告書」及びNPO法人にじのはしファンド「2019年度事業計画・活動予算」、ならびに子どもたちの近況を郵送し、お知らせいたします。どうぞ、ご確認ください。

最初に嬉しいご報告をいたします。

2018年度は、4名の若者が卒業や新しい道に向かって、にじのはしを巣立っていきました。

けんていさんは、県内大学を卒業しました。楽しいことや辛いこともあった大学生活ですが、大学生活は間違いなく人生のターニングポイントになったそうです。これからは、後輩達の目標として、人生を切り開くお手本になってくれるでしょう。そして、就職は、プロ野球球団も持つ、某有名食品会社に決まりました！営業部に所属しながら、球団を通して、児童養護施設訪問や病院、被災地支援なども行うそうです。いつか、キャンプで沖縄に里帰りする日を待っています！

NJさんは、県内の大学を卒業しました。にじのはしファンドの支援を受けながら、学業に専念した結果、社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験に合格し、4月からは県内の精神病院で働き始めました。卒業後は、福祉の道に進むことを決めたのは、「誰かのためではなく、自分自身の成長のため」と言うNJさんですが、きっと、頑張る姿が誰かを励ます力になることと信じています。

NKさんは、県内の専門学校を卒業しました。授業や実習など、大変なことも多く、卒業できるのか、不安な日もありましたが、先生や友達など周囲の人々に支えられ無事に卒業し、保育士として就職しました。これからも社会の中で多くの試練もあるでしょうが、きっと一生懸命頑張っていくだろうと信じています。

よしみさんは、県内大学を卒業しました。在学中は、にじのはしファンドの支援を受け、学業とアルバイトと両立させながら、教員免許の取得をめざして、一生懸命頑張ってきました。4月からは仕事をしながら、教員採用試験合格をめざして猛勉強の日々を送っています。将来、子ども達をしっかりと受けとめることのできる先生になるよう、応援しています！

次に継続支援の3名からのお便りを紹介します。

HKさん

今月もご支援ありがとうございます！

まだ寒い日が続いているので体調管理にとても気をつけています！

最近剣道の4段審査があり、かなり緊張しましたが無事に合格することができました！

勉強もいよいよ今年が勝負なので気の抜けない日々を過ごしています！

これからもがんばります！

さちのさん

こんにちは！

今月も皆様からのご支援に心から感謝致します。

3月に入り、いよいよ就職活動が本格的に始まりました。
連日、合同企業説明会に参加し、少しずつ将来へのビジョンが明確になってきています。
就職活動のカギとなる自己分析では、自分自身を見つめなおすことで、
長所短所などさまざまな発見や気づきがあります。
自然と周りの方々の大きな支えと励まし、応援があるからこそ、
辛いことや困難な状況に陥った時でも乗り越えてこれたんだなど
改めて気づかされています！！
このような自己と向き合う貴重な時間をもっともっと大切にしていきたいです。

あられさん

今月もご支援いただきありがとうございます。
ここ最近では、知り合いの病気や出産など、生と死について
考えさせられる出来事が重なりました。
そんな中で私自身も数日前交通事故に巻き込まれ、
無事助かったことで生かされているんだなあと自分の命の意味を考えました。
ただ、移動手段であった原付きが廃車になったり
慣れない保険会社とのやりとりが続いていて少々ぐったりしています。
自分の加入している保険会社の担当の話によると
沖縄では4台に1台は保険未加入という話だったので、
出費にはなるけれど、保険に入っておくことは大切だなと痛感しました。
今週からは、今年度の大学の履修登録期間となっていて、
バイトと学業とのバランスに頭抱えているところです。
どうするのがベストなのか、自分はどうしたいのかを
丁寧に考えていきたいと思います。

以上が子どもたちの近況になります。おかげさまで、にじのはしの活動は9年目に入りました。
今年度からは、法人として4つの事業を進めて参ります。添付資料「NPO法人にじのはしファン
ド4つの活動紹介」をご覧ください、私たち元気なメンバーの顔をお見知りおき下さい。

今後、社会的養護等を必要とする子どもや若者を物心両面で支援することで、彼らが将来
に希望を持ち、人生の選択肢を最大限に広げて、自立できるよう応援し続けます。引き続き、
あたたかいご支援を賜りますよう、改めて心よりお願い申し上げます。

2019年5月
NPO法人にじのはしファンド 代表理事 糸数未希

事務局からのお知らせ（重要）

《会計関係》

●寄付金の人件費等への充当について

2019年度からNPO法人として新規を含めた事業を執行するため、皆様からいただいた寄付金の
2割について、人件費を含む管理費に充当いたします。事務局として今後も可能な限りの経費削
減に努めて参りますが、皆様のご理解、ご協力をよろしく申し上げます。

●寄付先口座の変更について

法人化に伴い、銀行口座の新規開設をいたしました。毎月引落としのサポーターさまの手続きは特にごさいません。銀行口座へ直接ご寄付を行う場合は以下の口座へよろしくお願ひします。

名義：NPO法人にじのはしファンド 理事 糸数未希

琉球銀行 本店 普通 1271519

沖縄銀行 大道支店 普通 2067668

沖縄海邦銀行 本店 普通 0911569

ゆうちょ銀行 01730-8-150912

沖縄県労働金庫 本店 普通 3467957

《学生関係》

●資格取得を支援しました

運転免許証取得助成（各10万円）

1. Yさん（2018年4月） 2. Mさん（2018年5月） 3. Rさん（2018年11月）

●支援額を増額しました

NKさん 12万円（2018年7月～11月）

（実習でアルバイトを休職するため、給与分を支援）

●支援を終了しました

もりへいさん

2019年3月に県外の大学を卒業予定でしたが、本人の都合により、休学することになりました。このため、にじのはしファンドによる支援は、2018年度で終了いたします。もりへいさんへのご支援ありがとうございました。

●特別支援 Sさんについて

Sさんは10年程前に、優秀な成績で国立大学に入学しましたが、経済的にきびしくなり、中退することとなりました。当時、当会は充足しておらず経済的に応援することが出来ませんでした。もし、私たちがSさんをサポート出来たら、奨学金という名の多額の借金に苦しむ事はなかったでしょう。そう考え、私たちはSさんの奨学金返済を当会で支払うことに決めました。

支援総額は1,351,406円です。

このような支援が出来るのも、おひとりお一人のサポーターみなさまのおかげです。ありがとうございます。今後子どもたちの困ったに対応できるよう、活動を続けていきたいと思ひます。

以下、Sさんからのお手紙です。

にじのはしファンド様、サポーターの皆様、この度は奨学金返済の支援をしてくださりありがとうございます。私は5年前に大学を中退し、就職しましたが高卒給与スタートとなった為、奨学金の返済が生活の大きな負担となっていました。返済を滞納してしまった時もありましたが、なんとかやり過ぎていました。しかし、2年前に体調を崩し長期休職を余儀なくされました。

休職中も少額での返済をなんとか続けていましたが、貯金も底をつき、この先返済を続けながらどう生活していけばいいのか、悩んでいました。生活への大きな不安と、こんな状況に陥ってしまったことへの情けなさ、惨めさで頭がいっぱいになり、追い詰められていました。

そんな時、妹がお世話になっていた、にじのはしファンドの事を思いだし、思いきって相談することにしました。私は幼い頃から人に頼ったり、相談したりすることが苦手なので、とても緊

張し不安でしたが、快く相談にのってくださったのでとても安心しました。「相談する」ことができたのは私にとってとても大きな一歩でした。ありがとうございます。

私のような社会的養護経験者は問題や壁にぶつかった時まず相談相手を見つけることができず、苦勞します。親や親戚も頼れず、施設や里親を退園して数年経つと、施設職員や里親も頼れなくなっていくます。今回のことで、にじのはしファンドが私たちに初めてのセーフティネットになっているのどと感じました。安全に相談できる場所があることが、私たちの生活にとっても安心できることなのです。にじのはしファンドが在ることに、本当に感謝でいっぱいです。

今回、奨学金の返済が完了したことで、生活への負担がなくなり、安心して自分のこれからの人生について考えられるようになりました。将来への希望を持つ力を皆さんに頂きました。私も皆さんのように、誰かの力になれる人間を目指して頑張ります。

この度は本当にありがとうございました。

*°.°°.° *.:.。 .。 .:.*°.

子どもたちのお便りの郵送は、希望者のみに行なっています。

ご希望の方は、事務局までお電話またはメールでお知らせください。

インターネットのブログでは、いつでもお便りを読むことができます。

ブログへの読者登録をよろしくお願ひします。

《にじのはしファンド事務局》 (住所変わりました!!!)

〒902-0062

那覇市字松川275-4 ディファイ南西102

ブログの URL : <https://nijinohashi-fund.blogspot.jp/>

「にじのはしファンド」で検索!

メールアドレス : nijinohashi.okinawa@gmail.com

(ニジノハシ ドット オキナワ アットマーク ジーメール ドット コム)

(New!!!) 電 話 : 098-996-3182

(New!!!) F A X : 098-996-3183

携帯電話 : 080-6482-8484 (夜は午後8時まで)

※電話に応答できない場合は、こちらから折り返しお電話いたします。

①お名前 ②ご住所 ③連絡先電話番号、とメッセージを残してください。

にじのはしファンドの活動を広めてください

● お友だちをご紹介ください

児童養護施設のお子さんについて関心をお持ちの方に、にじのはしファンドの活動についてご紹介ください。ご希望の方には、事務局から資料をお送りします。

当ファンドの入会・退会は自由です。

* お気軽に、事務局までメールもしくはお電話ください。

* 退会ご希望の場合は、退会希望月の10日までに事務局にご連絡ください。

任意団体 にじのはしファンド

2018年度 決算報告
(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部

| 科目 | 2018年度予算 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-------|------------|------------|------------|---|
| 会費収入 | 11,000,000 | 9,976,000 | -1,024,000 | 目標口数(①1,000×917口×12ヶ月) ※寄付者了承のもと、会費の一部 (1070千円)を別事業(にじの森文庫) へ振替ため減 |
| 寄付 | 1,000,000 | 1,574,624 | 574,624 | |
| 助成金 | 500,000 | 450,000 | | りゅうちゃん募金(50万円) ※残り5万円は次年度に入金 |
| 雑収入 | 1,000,100 | 1,003,411 | 3,311 | 米百俵副賞(100万円) 利息、その他 |
| 前期繰越金 | 23,379,826 | 23,379,826 | 0 | |
| 合計 | 36,879,926 | 36,383,861 | -446,065 | |

支出の部

| 科目 | 2018年度予算 | 決算額 | 増減 | 備考 | |
|-----------------|--------------------|------------|-----------|---|---|
| (1)にじのはし奨学金 | 6,300,000 | 6,601,406 | 301,406 | 毎月の仕送り:4,950千円 資格取得支援:300千円 特別支援:1,351千円 | |
| (2)アフター7 事業 | 実家プロジェクト | 573,000 | 456,009 | -116,991 | 食費:金ちゃんラーメンの会(1回/週) ゆめサポート交流会(3回/年) おかえりなさいの会(2回/月) 北部拠点(1回/週)⇒未開催 |
| | 実家プロジェクト +(プラス) | 1,220,000 | 1,206,469 | -13,531 | 家賃、光熱水費、食費、消耗品、備品、 交通費、研修費用など(りゅうちゃん募 金、米百俵副賞より充当) |
| 総事業費 (1)+(2) 合計 | 8,093,000 | 8,263,884 | 170,884 | | |
| システム利用料 | 12,000 | 12,000 | 0 | リウコム | |
| 引落手数料 | 620,000 | 608,783 | -11,217 | | |
| 通信費 | 120,000 | 172,092 | 52,092 | 電話代、切手(決算報告書、お便り) | |
| 事務用品・備品 | 20,000 | 64,531 | 44,531 | 法人化に伴う印鑑購入、プリンター用インク カートリッジの購入等による増 | |
| 印刷費 | 30,000 | 17,784 | -12,216 | 決算書類、お便り | |
| 交通費 | 144,000 | 219,520 | 75,520 | 駐車料金等(定例会、交流会) ・交流会参加者増 ・法人化に伴う事務局ミーティング増 | |
| 養成費 | 100,000 | 26,620 | -73,380 | 一部研修費は実家プロジェクトに計上し たため減 | |
| 賃借料 | 259,200 | 151,200 | -108,000 | 事務局家賃 3月分は次年度に引落しのため減 | |
| 水光熱費 | 0 | 57,630 | 57,630 | 今年度より発生のため増 | |
| 諸会費 | 35,000 | 20,800 | -14,200 | アフター7事業全国ネットワーク年会費 認定NPO法人振興会 年会費 | |
| 雑費・その他 | 30,000 | 30,800 | 800 | 監査報酬、仮払金 | |
| 次期繰越金 | 27,416,726 | 26,738,217 | -678,509 | | |
| 合計 | 36,879,926 | 36,383,861 | -325,181 | | |

* 実家プロジェクト+(プラス)は、りゅうちゃん募金(50万)と米百俵副賞(100万)より支出

| 金融機関名 | 残高 |
|-------|------------|
| 琉球銀行 | 17,143,887 |
| 沖縄銀行 | 1,611,437 |
| 海邦銀行 | 183,940 |
| ろうきん | 937,965 |
| ゆうちょ | 6,805,475 |
| 小口現金 | 55,513 |
| 合計 | 26,738,217 |

監 査 報 告 書

にじのはしファンド
代表 糸数 未希 殿

にじのはしファンドより要請のありました2018（平成31年3月期）年度の会計について、2019年5月22日（水）、弊所事務所において監査を実施いたしました。

1. 収入については、徴収台帳と照合したところ、一致していることを確認しました。
2. 支出については、サポート事業費等として適正に支出されていることを確認しました。
3. 残金が以下の預貯金口座に保管されていることを確認しました。

琉球銀行寄宮支店 沖縄銀行崇元寺支店 沖縄海邦銀行寄宮支店
沖縄県労働金庫本店営業部 ゆうちょ銀行 小口現金

関係書帳簿及び証拠書類について監査の結果、適正妥当に処理されていることを認めます。

以上

2019年5月22日

友利税理士事務所
代表税理士 友利勇



2019年度事業計画書

法人成立の日から2020年3月31日まで

NPO 法人にじのはしファンド

1 事業実施の方針

児童養護施設等を退所後に進学した子どもを経済的に支援する給付型奨学金事業をこれまで通り中心として、初年度は県からの受託事業（予定）である社会的養護自立支援事業が安定的に実施できるよう、正会員一丸となって取り組む。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の予算額(千円) |
|--------------------------|---|------|-------------------|--------|-------------------|-------------|
| 進学者に対する在学期間中の生活・学資資金援助事業 | 入学から卒業までの生活や学費等の給付 | 随時 | 那覇市事務所 | 4人 | 児童養護施設等退所者 40人 | 28,951 |
| 各種免許および資格取得希望者への助成金事業 | 自動車運転免許等の資格取得のための助成金の給付 | 随時 | 那覇市事務所 | 1人 | 児童養護施設等退所者 5人 | 500 |
| 社会的養護等当事者のための自立支援事業 | 関係機関と連携し、退所者の自立支援計画作成、当事者のニーズに添った支援提供 | 随時 | 那覇市事務所、相談室、にじの森文庫 | 5人 | 児童養護施設等退所者 90人 | 23,505 |
| 子ども・若者等の居場所事業 | あらゆる世代による子どもの健全育成と貧困予防の一助として、子ども図書館と子ども食堂の運営を行う | 週2回 | 那覇市にじの森文庫 | 4人 | 地域の子ども・大人 100人 | 1,958 |

2019年度 活動予算書

(法人成立の日から2020年3月31日まで)

NPO法人にじのはしファンド

(単位:円)

| 科目 | 金額 | |
|----------------------------|------------|------------|
| I 経常収益 | | |
| 1 受取会費 | | |
| ・正会員受取会費 | 132,000 | |
| ・サポーター会員受取会費 | 10,068,000 | 10,200,000 |
| 2 受取寄附金 | | |
| ・受取寄附金 | 1,100,000 | 1,100,000 |
| 3 受取助成金等 | | |
| ・にじの森文庫助成金(那覇市) | 1,200,000 | |
| ・子どもに寄り添う給付型奨学金事業助成金 | 25,500,000 | 26,700,000 |
| 4 事業収益 | | |
| ・進学者に対する在学期間中の生活・学資金援助事業収益 | 0 | |
| ・各種免許および資格取得希望者への助成金事業収益 | 0 | |
| ・社会的養護等当事者のための自立支援事業収益 | 20,767,000 | |
| ・子ども・若者等の居場所事業収益 | 0 | 20,767,000 |
| 5 その他収益 | | |
| ・受取利息 | 110 | 110 |
| 経常収益計 | | 58,767,110 |
| II 経常費用 | | |
| 1. 事業費 | | |
| (1) 人件費 | | |
| ・給与手当 | 18,803,380 | |
| ・法定福利費 | 2,468,022 | |
| 人件費計 | 21,271,402 | |
| (2) その他経費 | | |
| ・支援費 | 26,209,000 | |
| ・食費 | 1,550,000 | |
| ・福利厚生費 | 200,000 | |
| ・印刷製本費 | 110,000 | |
| ・通信運搬費 | 353,700 | |
| ・旅費交通費 | 409,600 | |
| ・研修費 | 270,000 | |
| ・保険料 | 111,640 | |
| ・会議費 | 26,000 | |
| ・諸謝金 | 141,000 | |
| ・支払手数料 | 689,344 | |
| ・諸会費 | 20,000 | |
| ・車両費 | 360,000 | |
| ・修繕費 | 30,000 | |

| | | | |
|--------------|------------|------------|------------|
| ・消耗品費 | 420,000 | | |
| ・賃借料 | 1,954,704 | | |
| ・水道光熱費 | 640,000 | | |
| ・雑費 | 150,000 | | |
| その他経費計 | 33,644,988 | | |
| 事業費計 | | 54,916,390 | |
| 2. 管理費 | | | |
| (1) 人件費 | | | |
| 給与手当 | 600,000 | | |
| 人件費計 | 600,000 | | |
| (2) その他経費 | | | |
| 印刷製本費 | 30,000 | | |
| 通信運搬費 | 120,000 | | |
| 旅費交通費 | 144,000 | | |
| 研修費 | 100,000 | | |
| 諸謝金 | 30,000 | | |
| 消耗品費 | 20,000 | | |
| 雑費 | 30,000 | | |
| その他経費計 | 474,000 | | |
| 管理費計 | | 1,074,000 | |
| 経常費用計 | | | 55,990,390 |
| 当期経常増減額 | | | 2,776,720 |
| III 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | | | |
| IV 経常外費用 | | | |
| 1 過年度損益修正損 | | | |
| 経常外費用計 | | | 2,776,720 |
| 税引前当期正味財産増減額 | | | 70,000 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | 2,706,720 |
| 当期正味財産増減額 | | | 0 |
| 設立時正味財産額 | | | 2,706,720 |
| 次期繰越正味財産額 | | | |

○第41回琉球新報活動賞を受賞しました！

2019年2月、にじのはしファン드는「第41回琉球新報活動賞」の社会活動部門にて受賞いたしました。

同賞は、「一隅を守り千里を照らす」を基本理念に、社会の一線で活躍する気鋭の人、団体を表彰しています。

この賞は、昨年の米百俵賞に引き続き、当会が給付型奨学金によって県内の社会的養護の下で育った子どもたちの進学や資格取得を支援することや、児童養護施設で生活する高校生当事者と退所者との交流事業などを評価いただいたものです。

サポーターの皆さまはじめ、関係者の皆さまに支えられながら活動が認められたことでいただくことができました。改めて事務局一同、深く感謝申し上げます。

にじのはしファンド 系数末希代表



社会的養護の子どもたちをサポートする「にじのはしファンド」の系数末希代表（前橋市の法政大学）

県内の児童養護施設や児童家庭の若者の進学支援を目的に2011年に発足。会費から毎月10千円の支援を募り、学費や生活費など、若者の状況を考慮した支援を続ける。系数末希代表。

「若者に寄り添う伴走者」
 若者の進学支援を目的に2011年に発足。会費から毎月10千円の支援を募り、学費や生活費など、若者の状況を考慮した支援を続ける。系数末希代表。

琉球新報
 2019年2月23日(土)



○ソフトバンク・チャリティスマイル

第3回「安心して社会に巣立とう」応援助成先に決定しました！

この度、ソフトバンク株式会社によるソフトバンク・チャリティスマイル「安心して社会に巣立とう」応援助成先として、「離職によって住居を失った若者のためのシェルター提供からはじまる実家プロジェクト」に対し100万円の助成金交付が決定いたしました。

本事業は、社会的養護を経験し、失業などで住まいを失ってしまった、或いは何らかの事情で保護を要する15才以上の児童に、緊急対応できるワンルームをシェルターとして用意するものです。そのような対象者が行くあてがなく、友人知人のところを転々としているとの情報があり、実家を持たない彼らが孤立することのないよう、安心できる居場所を提供することで、自立への仕切り直しを行い、共に歩いていけるよう、物心両面からの支援を目指します。

前年度は「りゅうちゃん子どもの希望募金」から助成をいただきましたが、今回の助成で、シェルター事業も2年目に入ります。にじのはしファンドのアフターケア事業として、シェルターは大切な役割を果たします。当事者をはじめ皆様のご期待にそえるよう、スタッフ一同、しっかりと取り組んで参ります。どうぞよろしく願い申し上げます。